

平成30年度 第5回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：平成31年3月19日（火）午前10時～

場所：犬山市役所4階401会議室

出席者：18名中16名

1 開会

- 【事務局】 開会の挨拶を行う。
委員変更（人事異動に伴う）について説明する。（柏原委員→中野委員）
傍聴者（2名参加）について、説明を行う。

2 あいさつ

- 【磯部会長】 挨拶を行う。
【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数18名に対し、本日は16名が出席されている。過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。また、代理出席、配布資料について説明を行う。

3 議事

（1）報告事項

■ 天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う犬山市コミュニティバス無料乗車について

- 【磯部会長】 議事録の署名者に飯坂委員と宮島委員を指名する。
【事務局】 資料1を説明する。
【磯部会長】 市民等への周知のタイミングによるが、5月1日の元号が分かっていたら、新しい年号で案内をして欲しい。
【飯坂委員】 対象が親子での外出とあるが、高齢者は無料乗車の対象にはならないのか。
【事務局】 この2日間は高齢者の方も含め、どなたでも無料で乗車いただけます。
【飯坂委員】 高齢者も対象との文言が無いのは、何か意図があるのか。
【事務局】 意図は特にありません。今回の無料乗車日は、長期のGW期間中にもあたるので、特に親子で乗っていただくことを推奨したいということで記載しています。
【磯部会長】 そもそも犬山市コミュニティバスを走らせている本来の目的があり、今回は特別に誰でも無料にするという説明があれば誤解がない。広報等で補足をして欲しい。
【松浦委員】 5月2日（木）は、平日になるのか、休日になるのか。
【杉本委員】 5月1日（水）と3日（金）が祝日であり、祝日に挟まれた2日（木）は休日となる。

- 【杉本委員】 会長からもあったとおり、市民等への案内の際は、「新元号元年」など、他市町の表現も参考にしていきたい。
- 【工藤委員】 今回の無料乗車を実施するにあたって、特別に届出等の手続きは必要か？
- 【杉本委員】 運賃を利用者からではなく、市が負担することなので、特に届出等の手続きは必要ない。乗車人数をしっかりと把握し、適正な運賃の収受をお願いしたい。
- 【森川委員】 無料乗車は良いアイデアだと思う。多くの人に利用してもらうためにも広報だけでは足りないので、例えばバス停やバス車内に掲示するなど、工夫をして欲しい。
- 【磯部会長】 各委員から多くの意見やアイデアをいただいたので、参考にいただき進めて欲しい。

■ 新運行の状況報告

- 【事務局】 資料2を説明する。
- 【磯部会長】 バスが大幅に変わってから3ヶ月間の利用状況の報告です。皆さま何か意見は。
- 【杉本委員】 もともと再編前は曜日運行だったところを平日毎日運行に変えたので、単純比較はできないが、利用者が増えているということで大変良いと思われる。より詳細な比較は、1年後または2年後になると思うが、1日あたりや1便あたりのデータを比較されると更に議論が深まると思う。
- 【事務局】 1日あたりや1便あたり、収支率などのデータも再編前から継続して収集していますので、ある程度の期間分データの収集ができましたら、委員の皆さまに報告させていただきます。
- 【磯部会長】 良い意見を貰えることは嬉しいが、その反面、不満に思っている人もいると思う。早めに対応するためにも、そのような意見が事務局側には届いているか。
- 【事務局】 小型バス路線において、満車により乗車できなかった利用者が、3ヶ月で3回ありました。1人は目的地まで近いこともあり歩きに変更、2人はそのままお待ちいただき、別の路線に乗車いただきました。今後、満車時の積み残しへの対応方法を運行事業者と検討します。

■ 杉ノ山バス停移設について

- 【事務局】 資料3を説明する。
- 【磯部会長】 軽微なバス停移設案件なので、報告事項とさせていただいている。皆さまから何かありますか。
- 【杉本委員】 今回の移設に関しては、経路の変更が無いので、支局へは後日の届出でお願いしたい。今後は、移設先のバス停に対して公安委員会、道路管理者、地元の協議状況を資料中に記載していきたい。

- 【事務局】 今回の杉ノ山バス停について、移設先は民地内であり、土地所有者には同意書をいただいています。道路管理者及び公安委員会との協議状況について、同じ経路上であるので、共に意見なしと協議完了しています。
- 【飯坂委員】 今後の参考のためにも、移設等のルールは何か決まっているのか。ルールが無いのはおかしいと思われる。
- 【松浦委員】 バス停の移設について、明確な基準を決めるのは難しいと思われる。移設の状況や背景も様々であるため、今後もこの会議で協議して決めていくのが望ましい。
- 【磯辺会長】 軽微なものは道路管理者、公安委員会、地域住民との協議の上で進め、重いものは会議で協議する。
- 【事務局】 飯坂委員のご意見は、入り口（発言者）を明確にすべきとのご意見でしょうか。
- 【飯坂委員】 その通り。町内会や自治会、協議会など様々な団体もあり、個人の意見を持っている人もいます。整流化を図るためにも、そのルール化をしておいた方が良いでしょう。

■ 第三者評価委員会結果（速報）

- 【事務局】 資料4を説明する。
- 【磯部会長】 この会議で自己評価の内容を協議し、それを事務局が発表した。それに対する評価委員会のコメントである。皆さまから何かありますか。
- 【杉本委員】 中部運輸局は、補助路線だけではなく、地域全体を評価する独自の評価を行っている。今回、事務局から話のあった速報は、委員の方から直に出たコメントそのままである。正式な二次評価の結果は、後日、中部運輸局から出るので、次回の会議で報告されると思われる。少しでも参考にし、犬山市の交通網をより良いものにしていただきたい。
- 【塚崎委員】 本県も二次評価に出席したが、全体を通して評価委員から言われたことは、ネットワークの形成に関して、点と点を繋ぐのではなく、バス・鉄道・タクシーの乗り換えなど、面的なネットワークの形成が重要であるということ。その視点を忘れずに今後の犬山市の交通網に注力いただきたい。
- 【磯部会長】 多面的な評価が必要である。
- 【飯坂委員】 評価委員が行う検証のマニュアルなどはあるのか。
- 【杉本委員】 目標値に対してどうだったか、また、住民の満足度なども評価の指標となる。従って評価は様々であり、評価指標をまとめたものが中部運輸局のHPにあるので参考にしていきたい。
- 【磯部会長】 市全体で見る評価の指標もあり、地域毎の特殊性から見る評価の指標もある。それぞれに応じた評価や利用促進が重要である。
- 【飯坂委員】 犬山市のコミュニティバスは福祉のためのバスと認識している。評価委員のコメント

に収支率が大切といわれているが、その点は論じるべきなのか。多少の違和感を感じる。

【事務局】 再編の効果を検証するにあたり、改善したのか、逆に改悪となったのかを見る一つの指標として収支率を見ることが重要だとのコメントと認識しています。

【磯部会長】 コミュニティバスは税金で運行している。大切な税金がどう使われているかを市民全員に知っていただきたい。税金が役に立っているのか、無駄遣いなのか。数値としてきちんと表に出た方が良い。また、交通と捉えるのではなく、市民サービスとして見ることも必要。他市町では図書館のランニングコストと比較しているところもある。各委員からいただいたコメントを参考に評価指標を考えていきたい。

■ コミュニティバス小中学生無料乗車事業について

【事務局】 資料5を説明する。

【杉本委員】 あくまでも無料乗車はバスに乗るきっかけ作りであり、実際に利用してどうだったかなどの検証が必要だと考える。アンケートを実施するなど、何らかの形でフィードバックをもらえると良い。

【磯部会長】 教育委員会と協力体制を整えていることが大切である。

■ 選挙（期日前投票）期間中における無料乗車について

【事務局】 資料6を説明する。

【磯部会長】 昨年の秋と今年の冬に行われた選挙に、コミバスを使っていただいたという内容。期日前投票所は何箇所なのか。

【事務局】 市役所、市民文化会館の2箇所です。

【磯部会長】 投票当日であれば家から近い投票所だが、何らかの理由で期日前期間中に投票すると市内では2箇所しかなく、長い距離を移動しなければならないので、そのサービスとして、無料乗車を行ったという認識。無料乗車の効果は？

【事務局】 利用者からは有難いというお声をいただいております、評判は良いです。

【磯部会長】 近所の投票所はバリアフリーではないから、近所の投票所には行けなく、遠くの設備の整った投票所に行く人もいると思う。犬山がというわけではなく、他市町において期日前投票が増えているのは、その点もあると推測される。

【古田委員】 この期日前投票無料乗車の件だけでなく、小中学生の無料乗車事業もそうだが、結果の数値だけしか報告されていない。事業を実施した結果、今後、どのような方向性を持っているのか、その後のフォローや効果についても議論ができるよう資料づくりをして欲しい。

【事務局】 ご意見有難うございます。今後の資料づくりの参考とさせていただきます。

【磯部会長】 期日前投票であれば選挙管理委員会が関わるし、小中学校の無料乗車であれば教育委員会が関わる。市役所全体でバスについて議論する組織ができると良い。事務局だけでやるのではなく、犬山市にはバスが必要だということを認識できる場が必要であると思うので、御一考願いたい。

【飯坂委員】 選挙の無料乗車はどこからの要求なのか。

【事務局】 選挙管理委員会からの要請です。市全体で選挙率を上げるための施策であり、市民や特定の団体からの要請ではありません。無料と謳ってはいますが、運賃は選挙管理委員会を有する総務課で負担しています。また、期日前投票制度が始まり、期日前投票が全体の約半数を占めています。そこをもっと充実させたいというのも狙いの一つです。他市町では、ショッピングセンターや駅など不特定多数の人が集まる場所にも期日前投票ができる投票所を設置している事例もあります。設置の費用を考えると、コミュニティバスに乗っていただいて投票に来ていただける環境を整えた方が費用対効果としても高いと考え、本施策を導入したと思われま。

【磯部会長】 投票率が低い、どのように工夫して高めていくか。コミュニティバスの無料乗車がそれに大いに役立っているのであれば良いが、特定の人だけ運んでいるようにも数値からは見える。そういう印象を持たれるのは好ましくないので、そういった意見があるということ、選挙管理委員会に報告していただきたい。

■ その他報告事項

【事務局】 名鉄西部交通及び犬山タクシーが観光地を巡る新しい事業「犬山観光タクシー」を案内する

【磯部会長】 観光客向けの移動サービスを新たに展開するという報告。他に委員の皆さまからご意見は？ 無ければ以上をもって本日予定の議事を終了し、進行を事務局にお返しする。

【事務局】 磯部会長におかれましては、会議のとりまとめありがとうございました。また委員の皆さま方にはご活発な議論をいただきまして、ありがとうございました。本日の会議をもちまして平成30年度の犬山市地域公共交通会議は最後となります。委員の皆さまにおかれましては、多くの会議に出席いただき、またご審議いただきましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。次回の平成31年度第1回の会議は6月中下旬頃を予定しております。お帰りの際は交通安全にご留意いただきますようお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

以上

平成31年3月29日

本書は、平成31年3月19日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 宮島 知

署名人 飯坂 正